

令和7年度 第1回豊川市中央図書館協議会議事録

令和7年7月31日開催

豊川市教育委員会 中央図書館

令和7年7月31日 午前11時00分 開議

出席委員

委員	青山 昭吉
委員	安藤 孝枝
委員	北原 和代
委員	小杉 利加
委員	米野 美奈
委員	手嶋 須美子
委員	橋本 希世子
委員	村崎 一俊
委員	山田 素子

欠席委員

委員	原田 宏一
----	-------

事務局

中央図書館長	坂田 憲美
〃 主幹	渡邊 里恵
〃 課長補佐	山本 晃裕
〃 課長補佐	森田 靖久
〃 業務係長	立岩 美幸
〃 図書係長	伊奈 典子

傍聴人

1名

議事

- (1) 令和6年度図書館事業実施報告について（資料1－1、1－2）
- (2) 令和7年度図書館事業計画について（資料2）
- (3) 子ども読書活動推進計画の進捗状況について（資料3－1、3－2、3－3）
- (4) 図書館基本計画の進捗状況について（資料4）
- (5) 子ども読書活動に関するアンケートについて（資料5）

(午前 11 時 開会)

事務局 只今から「令和 7 年度第 1 回 豊川市中央図書館協議会」を開催いたします。なお、「豊川市図書館協議会の傍聴に関する取扱い」に基づき、本日は、傍聴される方もお見えになることをご了承ください。本日の会議は本年度最初の会議となりますので、会長が決まるまでの間、事務局で会議の進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

机の上に委嘱状または辞令を置かせて頂いておりますのでご確認ください。

それでは開会にあたり、館長からごあいさつ申し上げます。

館長 あいさつ

事務局 各委員の紹介、事務局の紹介

本日は委員 10 名中 9 名の出席をいただいております、「豊川市図書館管理規則」第 24 条第 2 項に規定している、委員半数以上の出席ですので、本会議は成立となります。

それでは、次に会長・副会長選出に移ります。「豊川市図書館管理規則」第 23 条第 1 項に「豊川市図書館協議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選により定める」と規定されています。まず、会長をご選任いただき、次に副会長をご選任いただきたいと存じます。

会長に安藤委員を選任

副会長に手嶋委員を選任

それでは、「豊川市図書館管理規則」第 23 条第 2 項に「会長は会務を総理し、協議会の会議の議長となる」と規定されていますので、安藤委員は議長席へお移りいただき、一言ご挨拶をお願いいたします。

会長 会長あいさつ

会長 まず、議題(1)「令和 6 年度図書館事業実施報告について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 「令和 6 年度図書館事業実施報告について」資料に基づき、説明。

会長 只今、事務局から説明をしていただきましたが、ご質問、ご意見などありましたら、ご発言ください。

委員 「館外貸出」の統計に生涯学習センターがありますが、これは、センター独自の図書室利用者も含めた数字でしょうか。

事務局 中央図書館から貸し出しをした図書の数字のみとなっています。

委員 わかりました。

委員 図書の購入が減っているという説明でしたが、どのような基準で選定されていますか。豊川高校では全国学校図書館協議会のデータを基にして選書し、さらに学校の特色を出せるように選書をしています。この中央図書館であれば、豊川市の地域資料や、海軍工廠の資料を集めたいといった基準を基に選定していると思うのですが、こういうもの買っているという公表をお願いします。

次に、資料からは豊川市の蔵書冊数がわかりません。他市とどのくらい違うのか、といった確認は基本だと思いますのでぜひ公表してください。

事務局 蔵書冊数につきましては、図書館概要を毎年作成しており、そちらに分館も含めて掲載しています。ホームページでも公表しています。また令和 6 年度分については、集計がまだですが、令和 5 年度末だと、一般書児童書合わせて約 77 万冊、視聴覚資料は 2 万件ほどになっています。資料の掲載については今後改善できればと思います。

委員 続いて資料 1-2 の電子図書館ですが、非常に華やかに豊川市はスタートしたと思っています。始まったのが 2016 年 2 月で、愛知県では大府市に続く 2 番目でした。翌年には対象者を市内

在住者から市内在学又は在勤へと拡大し、この協議会のなかでも広く学校関係にも利用をお願いしたいということで、本校もタグを組んで進めました。この本校の試みが先鞭となり、他校へ広まれば豊川市の図書の貸出冊数も来館者数も増えると思われまします。さらにこのことは日本図書館協会、愛知県公立図書館長協議会で発表された、と聞いています。学校図書館と公立図書館がタグを組んだのは、私が調べたところ全国初の試みで、4年後に東大阪で同様の試みがあり、当時多くの市町村から問い合わせや見学があったと聞いています。今年ですが、図書館にまた本校オリジナルの利用カードの登録、作成をお願いしようとしたところ来年度は困難であるというお話がありまして、それについては、もともとの基本計画の中で目指したもののから逸脱するのではないかと思いますので、その点をまずは館長にお答えいただきたい。

館長 今年、担当からオリジナルカードの作成は難しいという意見がありまして、それならば、お金はかかるが電算委託をする方法を提案し、見積もりをとったところ出来るということでした。私はぜひ継続してやっていきたいと思っています。

委員 電子図書館には多くの寄贈や企業協賛などを頂いており、広く高校生に読んでいただくようにということだったと思っています。全学校、全小中学校に電子図書館が結び付けば大きな成果になると思います。先駆的で画期的な試みをした豊川市が遅れを取ってはならないと思いますので、ぜひお考えいただきたいと思います。

会長 ありがとうございます。

委員 あと、続いて資料1-2ですが、「春の図書まつり」の参加者数の記載がなく、合計が抜けていますがいかがでしょうか。

事務局 「図書館まつり」は、「まつり」だけの参加者の特定が出来ないため人数をカウントしておらず、記入するとすれば参考までに来館者数を載せることになります。

会長 来館者数であっても、たくさんの方がお見えになったという指標になると思いますのでよろしければ来年はお考えください。

事務局 はい、了解しました。

委員 地方自治体が行っている「図書館まつり」のなかでは豊川市が抜きん出ています。また、以前は豊川高校の将棋部や茶道部などが、利用できる部屋が無い中でも協力していました。できれば賑やかな形に戻して続けていただきたいと思います。

事務局 12 頁の御津図書館はいつも、おみくじなどのイベントをしているようですが、「みとくじベンダーセカンド」の 681 名は昨年に比べ倍増しています。一般は減っているが、子どもは増えているようで、各分館のイベントについて各分館からもう少し詳細な報告がいただきたい。分館は職員も少ないことから、招集するのは難しい状況ですが、SNS 等でイベントの写真などは紹介しています。来年度の協議会でも写真などの紹介も考えて行きたい。

委員 3、電子図書館ですが、電子書籍貸出回数と、電子書籍閲覧回数は分けて表示するのではなく、まとめて合計して前年度比較されると良い。

事務局 検討させていただきます。

会長 分館の方々も少ない人数でよくやっていただいているのが、これらの表からよくわかります。他にはよろしいですか。

会長 それでは、次に議題(2)「令和7年度図書館事業計画について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 「令和7年度図書館事業計画について」資料に基づき、説明。

資料の訂正があります。1、中央図書館事業で、春と秋の図書館まつりの追加をお願いしま

す。

只今、事務局から説明をしていただきましたが、ご質問、ご意見などありましたら、ご発言ください。

委員 昨年も好評だった修理本ボランティア講座を開催されているということで、良い企画が続けられているな、と思いますし、読み聞かせボランティア養成講座も開催していただいたのですが、昨年講座を受けられた方から、新たな団体を作ろうとか、どこかの団体に入りたいとか、図書館で把握されていますか。

事務局 募集段階からボランティア活動の希望を伺ってはいるのですが、皆様お気持ちはあるのですが、日程的な問題などで、なかなか難しいようです。引き続きこのような講座は続けていきたいと思っています。

委員 修理本ボランティアもそのような感じなのでしょうか。

事務局 修理本ボランティアは、北原委員にもご協力いただいております、少し増えた感じです。

委員 修理本講座は、初歩しか教えていただけないので、例えばかがり綴じの本の直し方とかは習っていないので、私も15年ほど修理をやっていますので、図書館にお断りをしたうえで、私が教えることもあります。今回は全員で4、5人、第6期と第7期の方が参加されるようになり、かがり綴じとかいろいろ、教えて差し上げています。すると本の修理だけではなく、本の構造にも興味を持たれるようで、ここに糊をつけると、ここに力が掛かって良くない、などの説明も良くわかっていただき、本の材料とか道具とかにも目が行くようになりました。それで、ものすごく最近の方の出席率が良くなって、修理する本が足りないぐらいになりました。いつも修理する本に追いかけていたもので、初めての経験でした。ですので最近では修理ではなくて、製本のような活動もやらせて頂いています。

事務局 7年度は新規で募集ではなく、経験者のスキルアップ講座となります。この2つの講座を、隔年で行っています。

委員 今、読み聞かせボランティアは増えにくい状況ですので、修理本ボランティアのお話を聞いて羨ましく思います。

委員 私もずっと考えていたのですが、読み聞かせのほうも新しく講座を受けた方と交流会はやって頂いているのですが、ほとんど交流もないし、メンバーもだんだん歳をとって新しい方も入らなくなって、私たちも3回の活動を2回に減らさざるを得ない、さらにみんな病気持ちなんです。いつ辞めることになるか恐々としていて、若い人たちと交流をして、若い人から教えていただき、もっと仲良く前に進みたいと思うので、ご相談すると、豊川はしっかりやっているほうです、と言われ、確かにその通りだとも思っています。何か突破口が欲しいと思っている。聞きに来る方も大勢いるのですが、どこか頭打ちの感じがしています。

会長 では、さきほど米野さんが言われた「子ども読書の日」つどいワークショップのあとに、「おはなし会」の追加修正をお願いします。

ボランティアを増やすのは、今働いている方が多くて大変かな、と学校のボランティアでも思いました。学校では子供連れでも良い、小さい子を抱えたままでも良いとしたら増えました。自分の子供に聞かせる感じで良いです、としたら「ボランティアなんてとても」とおっしゃっていた方が、来てくれるようになりました。ですから若い方もやるのが嫌ではないと思いますので、色々なアイデアをいただきながら進めて行ければと思います。

委員 それでは、次に議題(3)「子ども読書活動推進計画の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 「子ども読書活動推進計画の進捗状況について」資料に基づき、説明。

委員	只今、事務局から説明をしていただきましたが、ご質問、ご意見などありましたらご発言ください。
委員	令和6年度の進捗状況の達成率ですが78%で、実施率は100%であったということでありました。中止したイベントは無いけれども、達成率は78%であったことに対する評価や、評価に対する改善の試みといったところを、どういうふうにお考えなのか伺いたい。
事務局	△をいかに○に変えていくか、ということになるかと思いますが、私が長らく現場で児童サービスなど担当していきまして、今回はじめて集計しましたが、数字で評価することの難しさを肌で感じています。実際のところ、乳児検診の参加者が少ないと△になってしまったり、集中取り組み期間ということで、「うち読」に関する昨年度の目標値が100から500に上がっており、配布数は100から350に増えたのですが、そこで目標に届かなかったということがあります。こういった背景もありますが、出前講座や職場体験の方に積極的に資料を配布するなど、事業は異なりますが相互に協力しあって数値を上げていきたいと思っています。
委員	業務に当たっている方が一番分かっているとは思いますが、特に積極的に進めると良いと思ったのはこれから必要とされている「パスファインダー」で、自ら探していく力は大事だと思っています。例えば探索する方法としては先ず「本を探す」、2番目は「新聞、雑誌を探す」、3番目は「WEBから調べる」ことになるかと思いますが、そのWEBから調べるには電子図書館の利用も出来ますから、デジタル社会に対応する環境整備も整えています、といった改善を加えて行けばよいと思います。
事務局	現場でもティーンズや、お子さんに向けて積極的に関わっていききたいと思っています。電子図書館もティーンズの本にウェイトを置いて、進めていきたいと考えています。
会長	それでは、次に議題(4)「図書館基本計画の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	「図書館基本計画の進捗状況について」資料に基づき、説明。
会長	只今、事務局から説明をしていただきましたが、ご質問、ご意見などありましたらご発言ください。
委員	進捗管理表の見方に関してですが、資料3-3の基本目標1ですが、令和2年はコロナで図書館サービスを縮小せざるを得なかった年です。それが基準になっていて、そこから何パーセント増になっているといった成果の出し方については問題がある、と感じています。そこら辺をお考えいただきながら、目標値を掲げていただいた方が良いと思います。目標値を上げることは市民サービスに直結し、良いことだと思いますが、図書館としては非常に困難な状況になっていくと思います。令和2年がコロナの直撃の時期であったことを考えて、同じように伸びていくとは捉えないほうが良いと思います。
会長	ありがとうございます。目標値の立て方はなかなか難しいと思います。
委員	読書が好き、といった数値の現状を見ていくことも大切なので学校読書調査報告などで経年変化を確認していくと、小学校82%、中学校73.5%、高校生73.%が“大好き”“どちらかといえば好き”となります。また不読率については、2024年は小学生、8.5%、中学生23.4%、高校生48.3%です。豊川市のアンケートの取組と同様に読書調査を毎年行っています。が、非常に数値が悪いです。
	豊川高校では利用者数を増やすために、朝の7時から開館しています、そうしますと当然学習に来ますので、来館者数は増えます。いかに読書、図書を貸し出す数を増やせられるか。全国的レベルの読書嫌い、嫌いではなく機会がない、不読率というのは一ヶ月に1冊も読まない、という数値ですので、半分の48.3%になっていますので、なかなか難しいところでは

あります。

会長

ありがとうございました。他にはよろしかったでしょうか。

それでは、次に議題(5)「子ども読書活動に関するアンケートについて」、事務局から説明をお願いします。

事務局

「子ども読書活動に関するアンケートについて」資料に基づき、説明。

会長

只今、事務局から説明をしていただきましたが、ご質問、ご意見などありましたらご発言ください。

前回のアンケートでは紙媒体でしたが、今はひとり1台iPadの時代なので、QRコードを読み込んで進める形になりますか。今、市教委からのアンケートはすべてQRコードですし、子どもたちへの負担も少なく済みます、また集計も楽になると思いますが、いかがでしょうか。

事務局

はい、QRコードで回答できるようにする予定です。業者ともしっかりと詰めて進めたいと思っています。

会長

本日の議題について、他にご意見はございますか。

本日様々な意見を頂きましたが、それを踏まえた上で議題については承認ということではよろしかったでしょうか。

委員

意見なし

会長

では、事務局に議事進行お返しします。

事務局

はい、ご審議のほう長時間にわたりありがとうございました。

「5、その他」があれば、お伺いいたします。ご意見が無ければこれで終了とさせていただきます。本日予定していました会議内容は以上となります。

これをもちまして、令和7年度第1回豊川市中央図書館協議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

(午後0時25分 閉会)